

清張作品  
いろはかるた  
(登場人物の女性を中心に)



2026年1月21日

# あ

## ■天城越え

●大塚ハナと土工と少年は天城峠を越えたのか。田島刑事は気がついた。少年は大人になっていた、老いた印刷所の経営者に。

あ



※松竹 DVD パッケージ利用

# い

## ■一年半待て

●須村さと子は、  
言った。

「一年半待って」  
でも、男は何故か  
待たなかった。

さと子の計算は  
狂った。無情に過  
ぎる一年半。

W



一年半待て

※ネット検索、画像利用

# う

## ■薄化粧の男

●草村淳子と風松ユリは、妻と愛人。なぜ男は、意外な偽装で殺され無ければならなかったか？二人の動機は何？偽装の方法は？

# ろ



薄化粧の男



ネット検索、画像利用

# 元

## ■ 駅路

● 福村恵子には男がいた。男との定年後の計画は恵子の死亡で頓挫。協力者の妹は、欲望に負け、犯罪者となっていく。

# 元



## 駅 路

傑作短編集 (六)

松本清張

新潮文庫

※駅路 傑作短編集 (六)

# お

## ■恩誼の紐

●ばばやんと辰太は、恩誼の紐で結ばれていた。おかんも富子もよく出来た妻だつ。が、よく出来た妻は男を駄目にした。男の墮落か？

# お



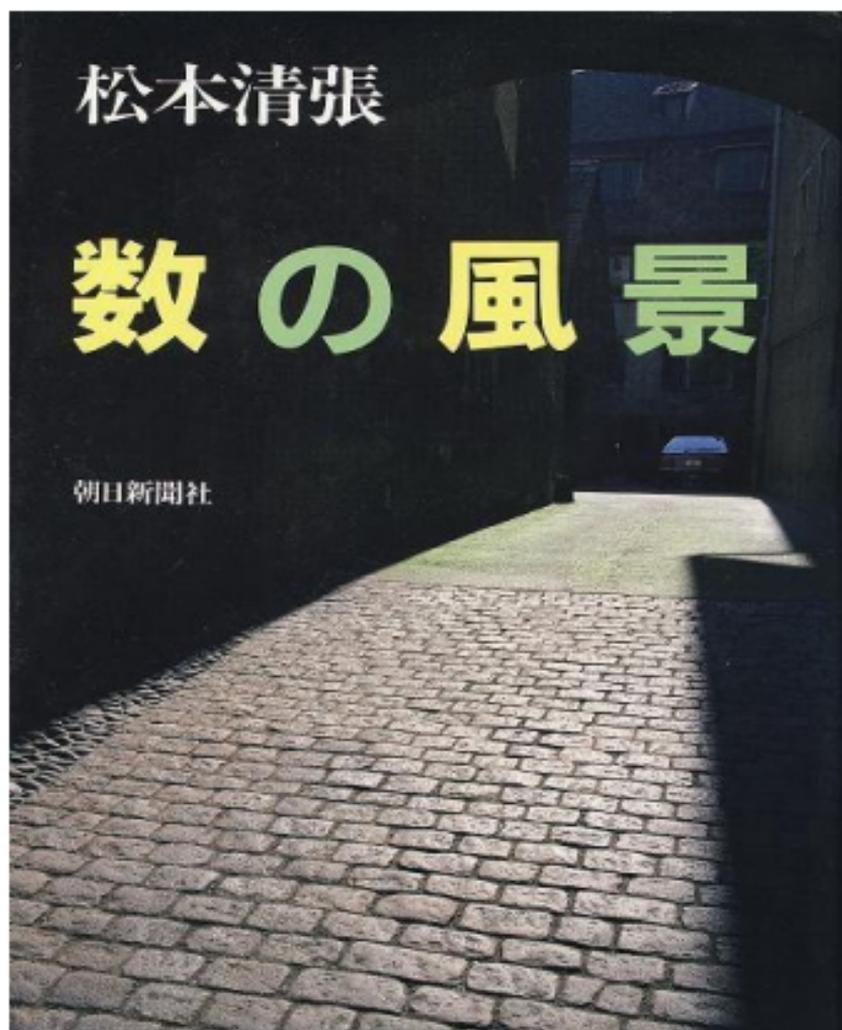
恩誼の紐 ネット検索画像利

# か

## ■数の風景

●梅井喜久子  
は、民俗学専攻  
の助教授。子攻  
の力のノ。算帽  
の女。五輪の喜  
増え。秘塔を  
久子は見逃さ  
かった。

# か



※数々の風景（毎日新聞社）

# ま

## ■球形の荒野

●野上久美子は奈良へ向かう。付き纏う、軍国主義者の影。彼女を支える男は、父との再会を実現。再会場所は観音崎。

# き



※松竹 DVD パッケージ利用



## ■黒い空

●山内定子はあ  
っけなく殺され  
る。怨念は時代を  
超える復讐劇。  
時代遅れの恩讐  
は、千谷規子の  
策略で破綻。生  
き残った者は誰

く



※黒い空（朝日新聞社）

# け

## ■けものみち

●成沢民子は、道具になる事を了解すして、けものみちに足を踏み入れる。引き返せぬ道は、藪の奥深くへ、そして無残な死へ続く。

# け



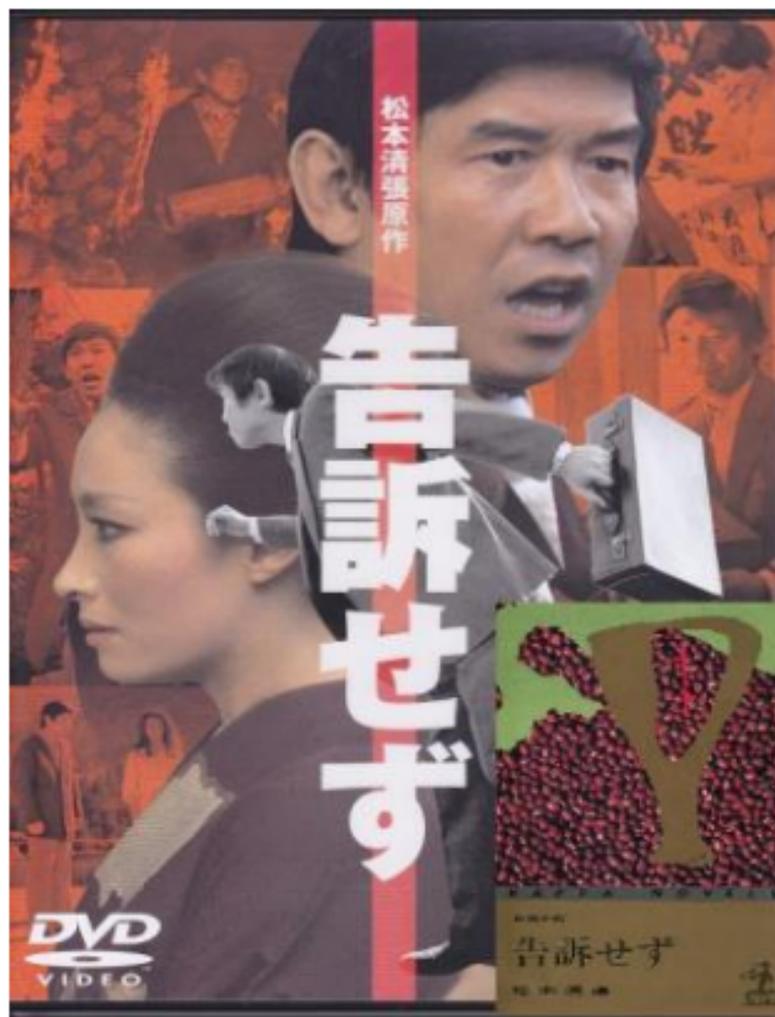
※ネットで検索 DVD

# こ

## ■告訴せず

●お篠は木谷省  
吾を裏切る。選挙  
資金の持ち逃げ、  
悪銭身につかず。  
小豆相場の裏  
占いは当たる。最  
切りの連続で最後  
に残るは誰！

こ



※ネットで検索 DVD

# さ

## ■再春

●鳥見和子はペンネームを鳥見可寿子と言う。作品のヒントは、知ってか知らずかトーマスマンの「欺かれた女」。作中作は「春の血」

さ

Thomas Mann

春

Die Betrogene

の

1954

血

高橋義孝譯

全ドイツの女性が憤激したと云う—  
女性の肉體と精神の秘密を暴いた—

# 欺かれた女

文豪トオマス・マンの新作—

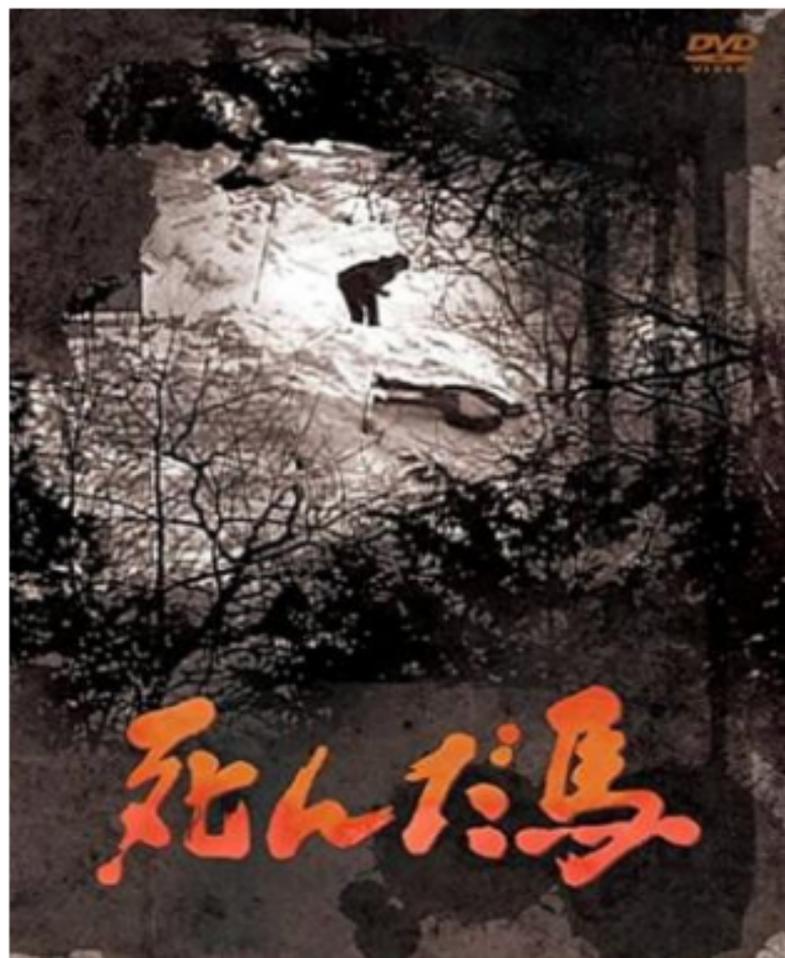
新潮社版



## ■死んだ馬

●石上三沙子は、店を開いて3年後、和風建築家の池野典也と出会う。秋岡は三沙子の術中にはまる。初心な男の行動は計算外。

己



※ネットで検索 DVD

# す

## ■砂の器

●成瀬リエ子は、紙吹雪の女。田所佐知子は、元の大宿命の娘。男の宿命、生きる道は過去を清算することだったのか。

# す



※映画の DVD

# せ

## ■潜在光景

●小磯泰子は夫と死別、息子の健一は6歳。健一は母の男に殺意を見せる。子供に殺意はあるのか？男の体験が現実  
に迫る！

# せ



※映画の DVD



## ■遭難

● 岩瀬真佐子は、弟の秀夫の遭難事故に疑問を持つ。横田二郎は遭難が仕組まれた事を再現する。仕組まれた登山の日程。

や



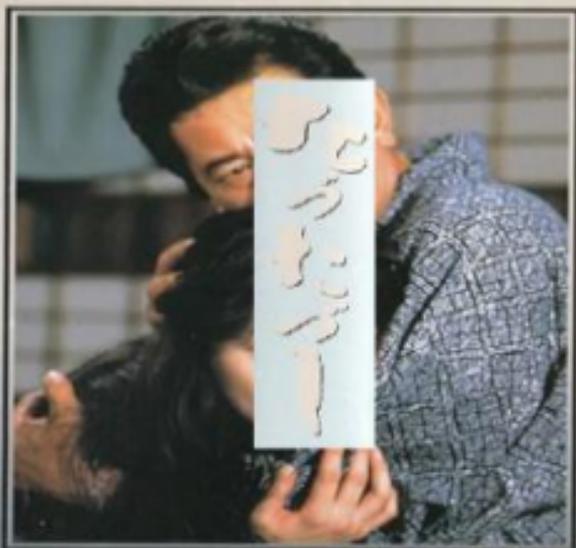
※映画の DVD

# た

## ■ たづたづし

● 平井良子は、生きていた。記憶喪失は、まさに「たづたづし」なのだ。良子には服役中の男がいたが記憶は蘇っているのか。

# た



脚本 ● 宮川一郎

監督 ● 橋村正敏

〈出演〉

古谷一行・吉川十和子

## 松本清張

作家活動40年記念



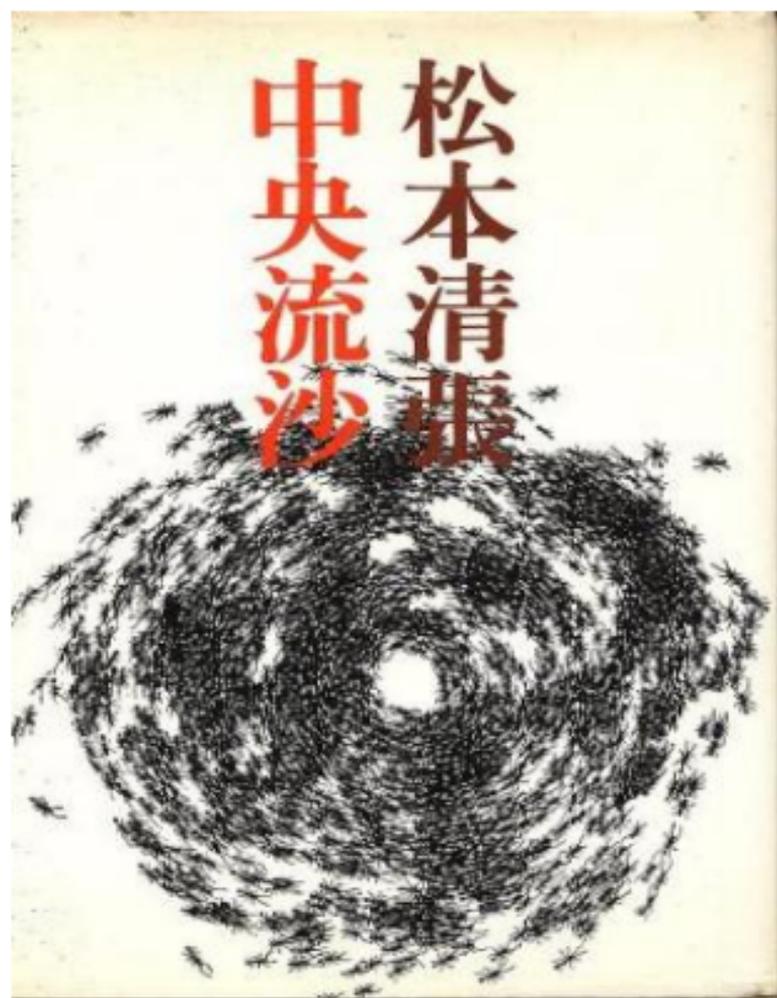
※映画の DVD

# ち

## ■中央流砂

●よし子は、西秀太郎の愛人。作並温泉の旅館に宿泊。三十歳くらいか、三味線も弾けるその筋の女。犠牲になるのは小官僚。

ち



※河出書房新社



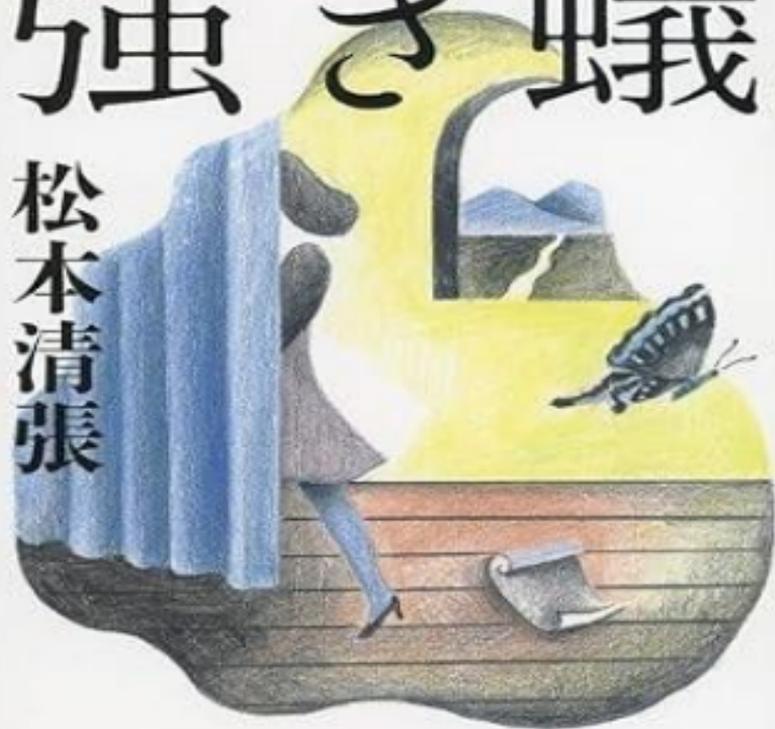
## ■強き蟻

●早春の寒い夕方だった。伊佐子が運転しながら燃料計を見るとEになっていた。まだ大丈夫と思っていたが、うかつだった。

つ

強き蟻

松本清張



文春文庫

# て

## ■典雅な姉弟

●生駒桃世は、60ばかりの老婆。弟の才次郎には二人の姉が居た。実姉と亡き兄の嫁。麻布鳥居坂で奇妙な生活は破綻する。

ㄣ



※麻布鳥居坂

# と

## ■ 投影

● 田村 頼子は、もともと水商売で働いていた。太一にくつついて田舎暮らしを始める。女は強く、逞しくそして可愛い。ハッピーエンド。

と

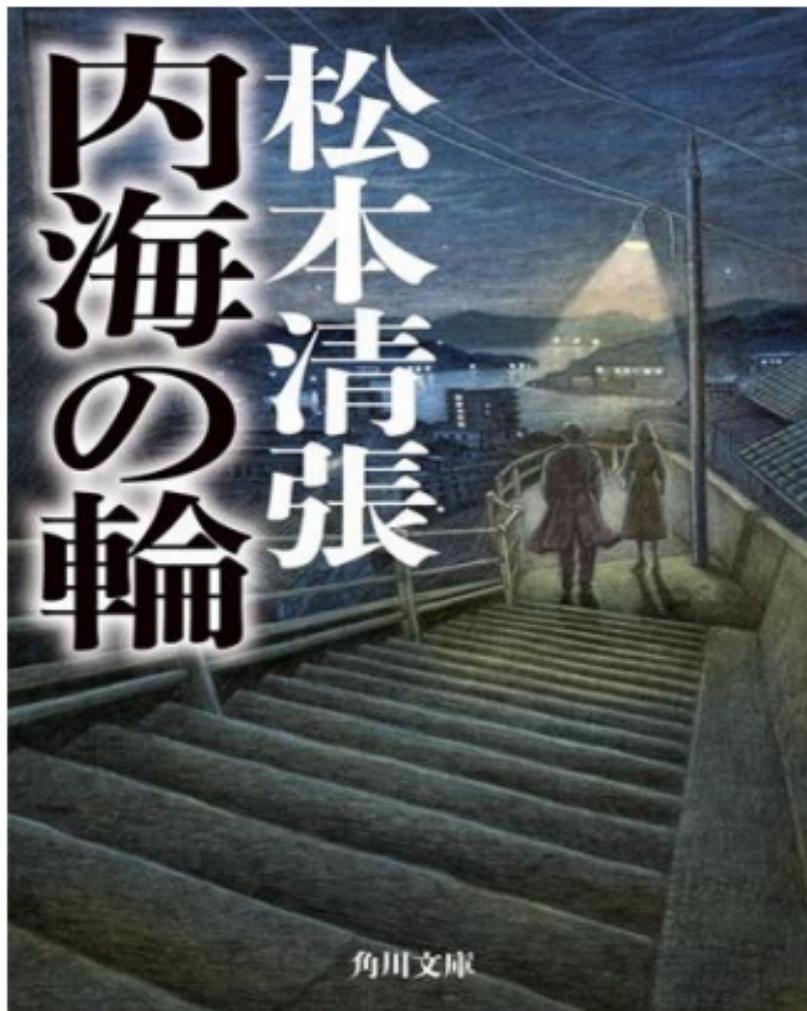


# な

## ■内海の輪

●西田美奈子は義弟の江村宗三と関係が出来た。偶然再会した二人は抜き差しならぬ関係になる。次第に宗三は、腰が引ける。

な



# に

## ■肉鍋を食う女

●天野秋子の狂気は、継子の天野トヲを殺す。

「凶器」は知能の低さ故か？肉鍋の正体はまさかのトヲ、父親の朝吉も気がつく。

# に



肉鍋を食う女

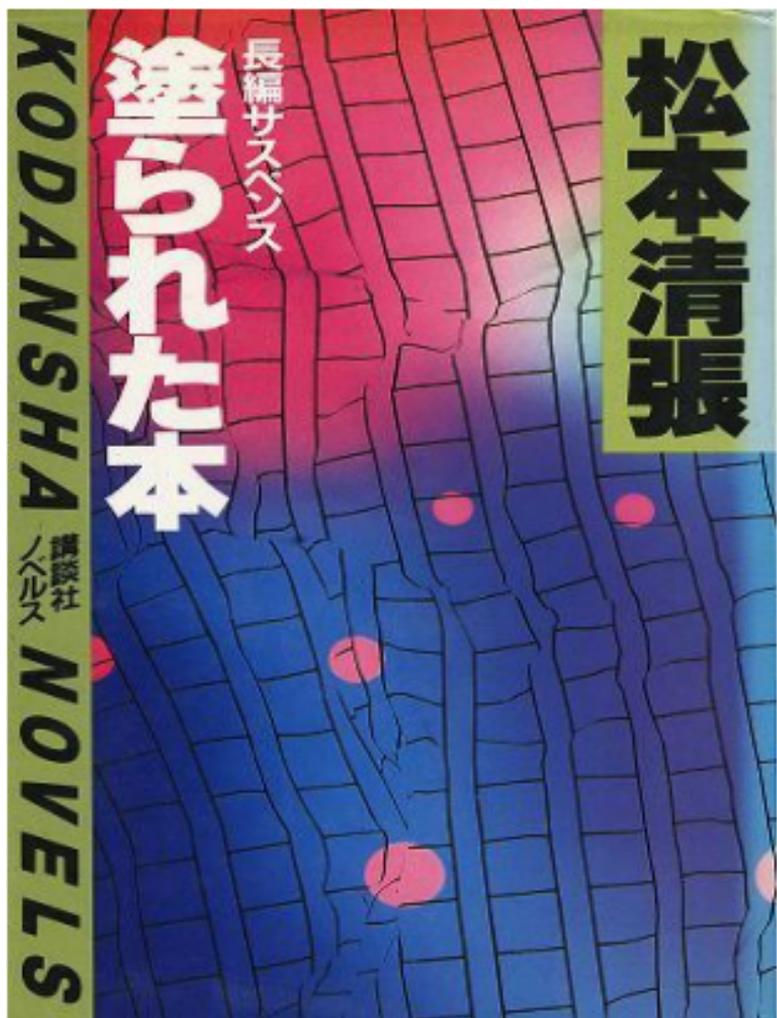


# ぬ

## ■塗られた本

●小説家木村丙午郎氏が、「北斗出版社社長紺野美也子」の名刺を取り次がれたのは、うららかに晴れた冬の日のことだった。

ぬ



# ね

## ■ネッカー川の影

●浅尾利江子は、日本に帰っていた。西原淳吉の妊婦姿の妻を祐天寺で見かける。ドイツ帰りの、それぞれの夫婦の後日談。

# ね

## 草の径

松本清張

ネツカ  
川  
の  
影

人それぞれの思いを刻んだ草の径

精いっぱいどのように生きても、いつかは  
辿りつく人生の暮色。悲しみをたたえた  
黄昏の微光の中に、人生の妖しさ、  
輝き、寂寥、あるいは真実を見出す  
巨匠の最高傑作!

秋刊  
400円  
262頁



## ■登る足跡

●改題・鬼塚球磨子は健在だった。国選弁護人は情熱を持って弁護に当たる。正義を名目に叩くマスコミ。弁護人は打たれた。

の



※映画の DVD

# は

## ■犯罪広告

●末永セイは殺された。池浦源作の犯罪を広告で告発する、息子末永甚吉も源作の餌食になってしまう。状況に右往左往の住民。

は

黒の様式 第二話

犯罪広告

松本清張

# ひ

## ■火の記憶

●高村頼子は、夫から暗い記憶を聞かされる。夫の記憶は、母の不倫。頼子は兄の指摘で間違いと知る。頼子の女を駆けた戦い？

ひ



NHK 土曜ドラマ  
松本清張シリーズ  
1975-1978

# 火の記憶

秋吉久美子 高岡健二 村野武範 山内明



# あ

## ■不在宴会

● 惠子はバアの魚の亭主。魚れ死住一に誘われ旅行。女の死体を見た魚住一は宴会を抜け出したのでアリバイが無い。

あ

不在宴会





## ■閉鎖

●女が出てこない。長男亡き後に、二男が後を継ぐ。因習が残る寒村。兄は本当に死亡したのだろうか？二男は兄の死を疑う。



# ほ

## ■発作

●黒木ふじ子は、田杉の愛人。妻は療養中。何を遣っても巧くいかない。発作は突然やってくる。日常の狂気は居眠りの男が原因。

ほ

発作

松本清張

あるサラリーマンの衝動

# ま

## ■万葉翡翠

●芝垣多美子は今岡三郎の婚約者。翡翠を求める旅は今岡の死亡で終わるが、今岡の死亡原因を多美子に教える。

# ま



# 2

## ■見送って

●島村基子が空港で見送ったのは、娘の新婚旅行ではなく、自身の旅立ちだった。自立を決意した素子の義母からの旅立ちだった。

# み



## 見送って



# む

## ■蓆

●江戸より九十里、美濃国郡上郡八幡の領主、三万八千石の金森出雲守は、その年四月、帰国の途についた。

む



# め

## ■眼の壁

●上崎絵津子はカギを握る女、誰が敵で誰が味方か。手形のパクリ事件を追う萩崎竜雄と友人の新英聞記者。舟坂英明は何者だ！

ゆ



# も

## ■モーツァルトの伯樂

●通訳の女は博識だった。男も女も名前が無い。著述業の男は、「この女は曾てはオペラの歌手志望だったかもしれない」と思った。

も



ザンクトマルクス霊園



モーツァルトのお墓にはモーツァルトがない?!

# や

## ■役者絵

●お蝶は、困われ女。美濃屋六右衛門の困われ者。六右衛門の殺害を、宗太と共に計画する。岡っ引きの文五郎は腕利き。

天



# ゆ

## ■夕日の城

●山辺澄子は、豪農の平垣新一と結婚した。夫は精神障害者、澄子は騙されての結婚だった。復讐は完結するの  
か？

ゆ



# よ

## ■余生の幅

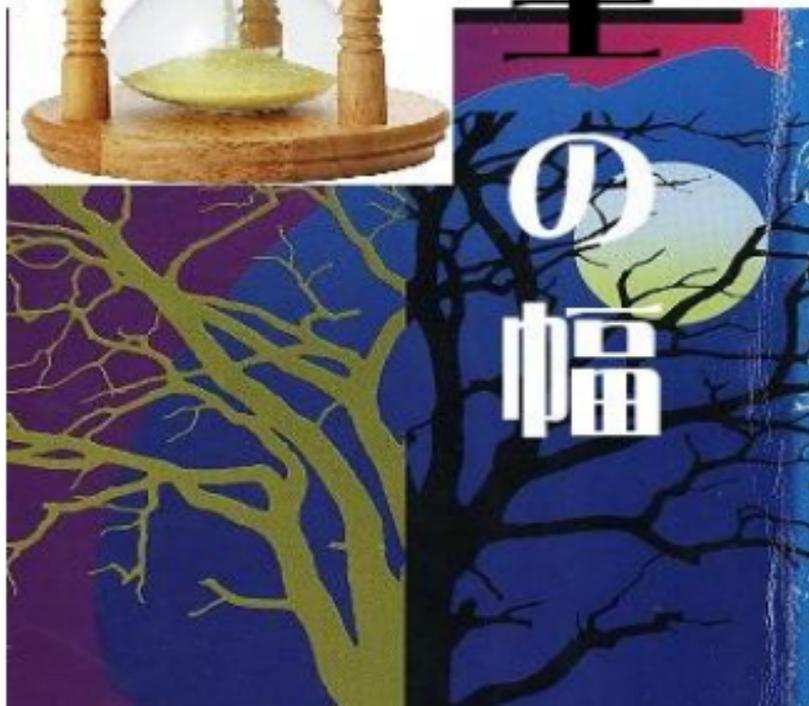
● 広瀬兼子は、菅沼文吉の妾。彼女の余生は「文吉」の死後どれだけだったのだろうか。主亡き後の本妻と妾の確執は決まった。

よ



余生

の  
幅



# ら

## ■ 落差

● 細貝景子は、  
翻弄される。教育の  
界の闇と人間の  
欲望。教科書の編  
纂の分野で名を  
馳せる島地助教  
授の女癖は、留ま  
ることがない。

ら



# り

## ■陸行水行

●田村伍平の妻は、浜中浩三へ手紙を出す。田村と浜中は邪馬台国を探しに旅に出たきり、南と東を間違える事は無いはずだ。

り



# る

## ■留守宅の事件

●栗山宗子に、妹の昌子がいた。殺された宗子の遺品であるウールのツープースを欲しがる。夫の敏夫は、見当たらないと言う...

る



# れ

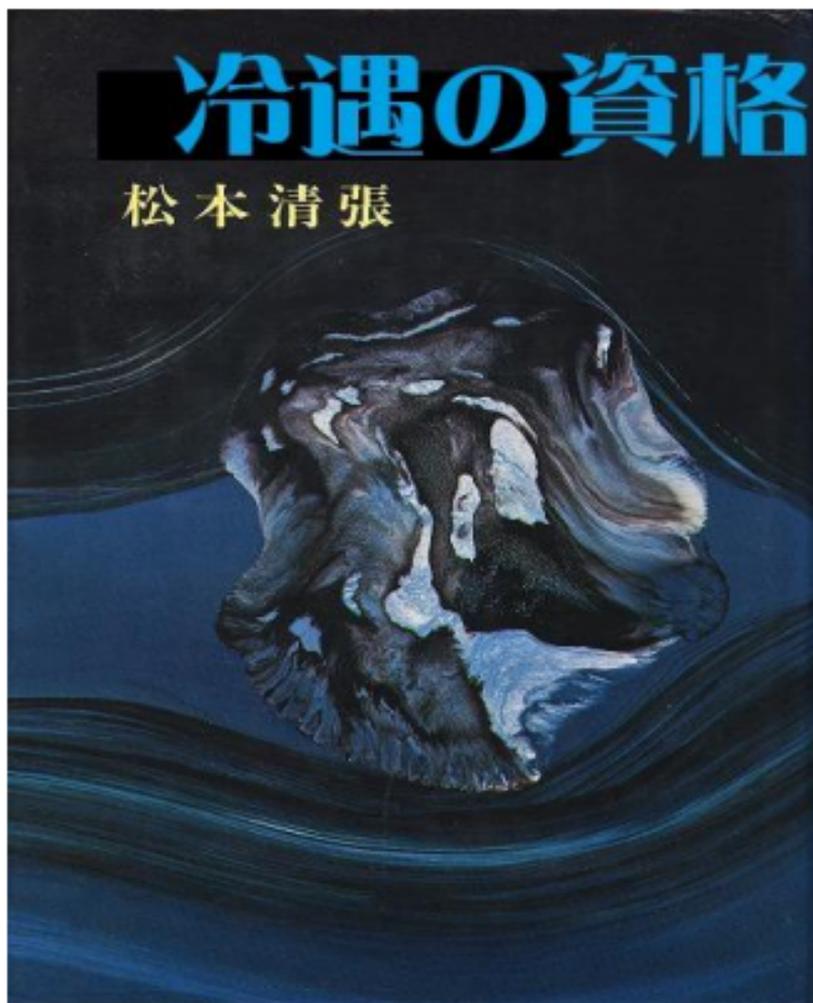
## ■冷遇の資格

●敬子は我が儘な女だった。原島栄四郎は、30代の敬子と再婚、敬子が2人の男と関係を持っていることを知った、原島の復讐劇？

れ

冷遇の資格

松本清張



# ろ

## ■六畳の生涯

●吉倉トミは家政婦。志井田博作は80歳になる元医師。トミにはヤクザな亭主がいたが、博作は、トミに説き彼女に執着し始める。

# ろ

黒の凶説

松本清張全集 10



松本清張

## 六畳の生涯

老人が家政婦に迫るが、意外な結末に

# わ

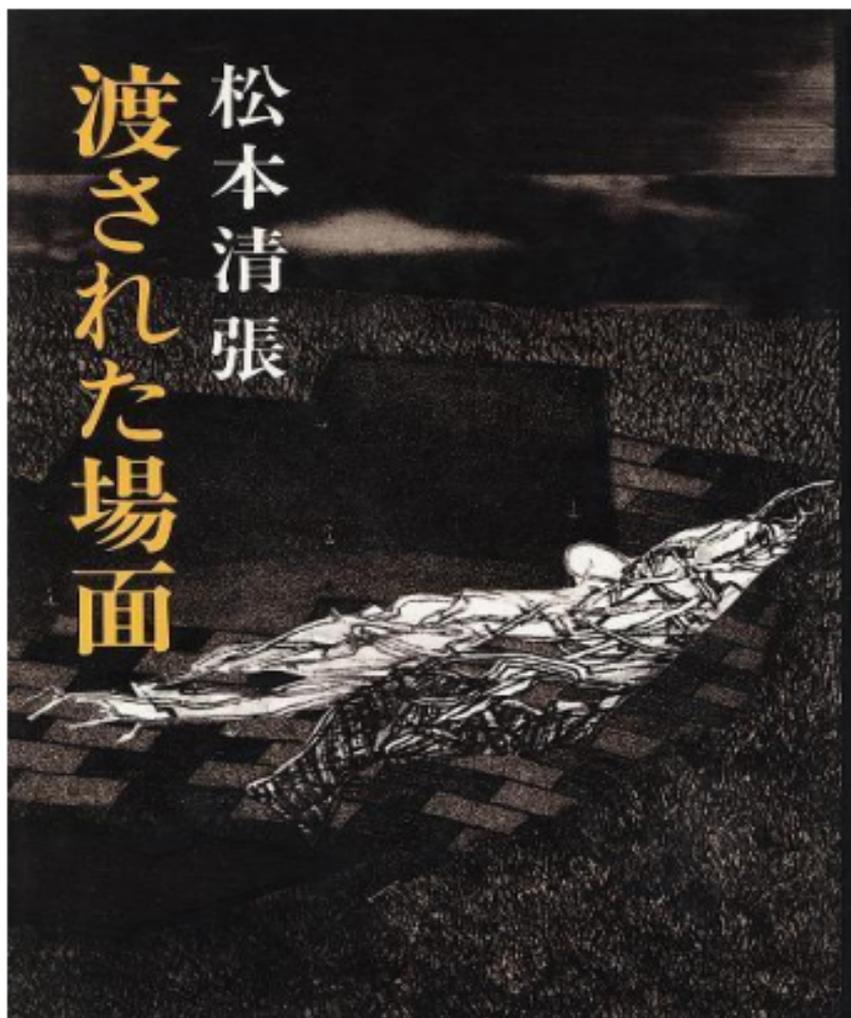
## ■渡された場面

●宿で働く真野一  
信子は、下坂一の  
夫を愛する気のない  
弱い女。作家のため  
小寺が泊まったた  
宿から書き損じの  
原稿が消える。作  
家志望の下坂へ

# わ

松本清張

渡された場面



# を

■鉢植えを買う女

■地方紙を買う女

■肉鍋を食う女

■馬を売る女

●女は、買って・  
食って・売るので  
す。

な



# D

## ■Dの複合

●坂口みま子は、計算狂。売れない作家の伊勢は雑誌社から原稿の依頼を受ける。編集者の浜中三夫は目的を持って旅を計画。

D

